



多摩源流 小菅村



広報

# こすげ

No.555

4 2026.  
月号

発行：小菅村役場

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4698番地 ☎0428 (87) 0111  
<http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp>

人口・世帯 令和8年3月1日 現在

●人口…611人 ●世帯数…330世帯(±)  
【男性…320人(+1)・女性…291人(-1)】  
※( ) 前月より



小菅村保育所

## おみせやさんごっこ



### contents

- P2-3 … 村長所信表明    P4 … 健康だより    P5 … 第35回源流まつりの開催について
- P6-7 … 小菅中学校卒業式 | 中学3年生による村への提言
- P8 … NPO多摩源流こすげ源流体験が「エコツーリズム大賞」を受賞! | 新入職員紹介
- P9 … 新村営バス納車 | 春の全国交通安全運動 | 地域おこし協力隊より
- P10 … お知らせ    P11 … 4月の行事予定 | ごみカレンダー
- P12 … 源流大学活動報告会 | 空飛ぶクルマワークショップ

令和8年3月

# 定例会所信表明

令和8年3月定例会の開会にあたり、村政運営に対する私の所信の一端を申し述べ、議員各位並びに村民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本村では、人口減少が続いており、地域の将来に対する不安の声も聞かれます。しかしながら、私は悲観だけをしているわけにはいかないと考えております。小菅村には、源流の豊かな自然、95%を占める森林資源、そして互いに支え合う温かな地域の絆があります。この強みを最大限に活かし、「小さくても持続可能で、誇りを持てる村」を築いていくことが、私たちに課せられた責務であります。

小菅村は小さな村ではありますが、小さいからこそ顔が見え、力を合わせることができる村でもあります。人口減少という現実を直視しながらも、未来に向けた挑戦を止めることなく、次世代へ誇れる村を引き継いでいく決意であります。



## 第5次総合計画で掲げた将来像

### 人口減少対策

源流親子留学制度の充実、若者住宅支援制度の拡充、空き家の利活用推進など、定住促進策を引き続き強化してまいります。また、外国人材の受け入れ体制整備を進め、地域産業の担い手確保にも取り組んでまいります。

### 防災対策

首都直下地震や富士山噴火などの大規模災害を想定し、備蓄品の充実と実践的な防災訓練を実施してまいります。災害に強い村づくりは、安心して暮らせる村づくりそのものであります。

### 教育

複式学級解消のための村担教員配置を継続し、公営塾やALTの活用を通じて学力向上と魅力ある教育環境の維持に努めます。自然の中で大きな夢を育てる「源流教育」をさらに発展させてまいります。

### 財政運営

交付税を基軸とする厳しい財政構造を踏まえつつも、基金の適正管理と有利な起債の活用により、健全性を維持しながら必要な投資を行ってまいります。無駄を省き、効果的かつ効率的な予算執行を徹底いたします。

より、健全性を維持しながら必要な投資を行ってまいります。無駄を省き、効果的かつ効率的な予算執行を徹底いたします。

## 令和8年度の重点政策

### 旧かどや旅館改修事業

本年度中の完成を目指し、令和8年6月のオープンを予定しております。本施設は村民の憩いの場であると同時に、村全体の経済循環を生み出すハブ拠点としての役割を担うものです。村民ワークショップで寄せられた声を反映し、多世代が集い、語り、つながる場として運営してまいります。

### 小菅の湯第2 源泉井戸掘削工事

降矢戸地内を掘削箇所に考えていて、掘削申請を6月に提出し9月には掘削工事を開始したいと考えています。なお、この事業は継続事業で行っていきたいと考えています

### 防災無線の更新

2か年にわたって行う計画で、今年度は8,000万円を予定しています。

### 計画の更新見直し

総合計画、国土強靱化計画の中間見直しと、地域防災計画見直しを予定しています。

### エネルギー関係

脱炭素社会へ向けた事業として、電気自動車購入費補助、薪ストーブ購入に伴う単独補助金を創設する予定です。

### 社会福祉協議会への補助

介護保険収入減に加え、人件費、物資や光熱費の大幅な増額と、予防事業に力を入れるため、3,000万円の補助費を計上しています。

### 基幹相談支援センターの設置

社会福祉協議会へ委託し、身体障害者、知的障害者、精神障害者等の相談業務を行う予定です。

### 地域おこし協力隊

現在7名の隊員に加え、令和8年度から新規事業で行うきくらげ栽培やヒラタケの事業継承、獣害対策、社会福祉協議会等の隊員として新たに5名の採用を予定しています。なお、この事業費は特別交付税措置となります。

### HIS との起業人

小菅村の観光がさらに発展するため、株式会社エイチ・アイ・エスの旅行商品開発能力や情報発信力が必要であると考え、村が令和7年4月1日に株式会社エイチ・アイ・エスと「活性化起業人協定書」を取り交わした継続事業です。

受け入れにあたっては、交付税措置のある国の「活性化起業人制度」を活用しています。

### 鳥獣害被害対策事業

鹿にシカやイノシシがかかったら全村域に通報システムで知らせる長距離無線パトロールシステムを導入したいと思います。なお、経費は全額国費負担となります。

### 森林関係予算

日陰対策と路網整備1路線を継続で実施、景観間伐事業を森林環境税とふるさと納税基金で実施する予定です。また、新規事業では林相転換対策事業で竹林対策を実施する予定です。

### 富士の国山梨観光事業

温泉の駐車場不足対策を行いたいと思います。場所はヤギ小屋横を計画しています。

### 地域未来交付金事業

令和8年度～令和10年度までのうち今年度事業として、こすげ村人ポイント事業の向上として、1/2村民拡充するための事業と地域担い手定着型居住拠点事業を計画しています。

### 村道松姫峠線の土砂崩落撤去

小永田地区の要望により、小永田上も地滑りにより通行ができないため撤去します。

### 空き家活用住宅整備モデル事業

住宅難で移住者も断っている状況に長崎知事のご配慮もあり新規事業として実施の予定です。1棟当たり事業費1,000万円を見込み、国補1/2、県費1/4、村1/4で2棟改修したいと思っています。

### 上下水関係

簡易水道配水管布設工事を余沢2工区と中組2工区を予定しています。下水につきましては、マンホールポンプ更新と橋の配管更新を予定しています。

### 教育事業

中央公民館のネットワーク機器の入れ替え、公営塾スタッフ報酬、ALT人件費、複式学級解消村担職員の導入を予定しております。



# 令和8年度の健診(検診)について

令和8年度の健診(検診)についてのお知らせです!!

詳細は3月中旬に全戸配布した健康ガイドブックをご確認ください。

年に1度は健診を受診し、自身の身体の状態をチェックしましょう!

## 住民総合健診

対象者 すべての住民

日時 ①5月16日(土) 午前8時から  
※今年度は**土曜日**の実施となりますので、ご注意ください。

②6月7日(日) 午前9時から

場所 小菅村役場2階・3階、小菅小学校校庭

実施機関 ①山梨県健康管理事業団  
②山梨県厚生連健康管理センター

基本健診(特定健診)  
各種がん検診  
が受けられます!

## 人間ドック

対象者 令和8年度に達する年齢が35歳以上75歳以下で5倍数の節目年齢の方  
(35、40、45、50、55、60、65、70、75歳の方)

日時 ①5月28日(木)  
②6月4日(木)～6月30日(火)のうち15日間

場所 ①クアハウス石和  
②山梨県厚生連健康管理センター



## 子宮がん検診 (車検診)

対象者 21歳以上の女性の方

日時 7月4日(土) 午後1時30分から

場所 小菅村役場前

予約方法 5月以降の回覧にてお知らせします

本年度に21歳  
になる方は**無料**で  
受診できます!

## 対象年齢に達したらがん検診を受けましょう!

住民総合健診では、加入保険の種別に関わらず「がん検診」を受診することができます。



### がん検診のメリット

- ① 早期発見、早期治療で命を守る
- ② 治療負担を軽減する
- ③ がんの発病の予防につながる
- ④ 安心して生活できる

### がん検診のデメリット

- ① がんが100%見つかる訳ではない
- ② がんがないのに「がんの疑いあり」とされることがある
- ③ 不必要な治療や検査を招く
- ④ 検査が身体に負担をかけることがある

がん検診は、「痛みを伴う検査はやりたくない」「行っている時間がない」等の理由から受診することを遠ざけてしまいがちです。無症状のうち、「自分は大丈夫」という思いになることも少なくありません。しかし、現在では日本人の2人に1人が「がん」になると言われており、いつ発症するか分かりません。ご自身の生活を満足のいくものにするためにも、ぜひこの機会にがん検診を受診してください。

## 第35回

# 多摩源流まつりの開催について

お知らせ

昨年に引き続き「多摩源流まつり」を、令和8年5月4日(月・祝)に開催します。本まつりはこれまで、「村民手作り」を基に企画段階から当日の運営に至るまで、多くの皆さまのご協力のもと開催してまいりました。今年は、実行委員会において、従来実施してきた花火や、新たにスカイランタンの打ち上げに加えビンゴ大会、さらにマスのつかみ取りの復活などの企画を検討してまいります。村民の皆さまにとって負担となる形ではなく、運営に携わる側も来場者として楽しめる、新しい形での開催を目指しております。このたび開催いたします「第35回多摩源流まつり」の実施内容は下記のとおりです。

**日時** 令和8年5月4日(月・祝) 午前11時～午後7時30分

**会場** 小菅村第1スポーツ広場(池之尻グラウンド)

**主催** 第35回多摩源流まつり実行委員会・小菅村

### 内容

#### ①ステージ

- ・芸能披露(三ヶ村氏子・狛江市岩戸はやし保存会)
- ・歌謡ショー(徳永ゆうき)、ものまねライブ(ビューティーこくぶ)
- ・ヒーローショー

#### ②出店コーナー

- ・物品販売・飲食の提供・娯楽サービス等
- ※今年は飲食店のみ午後7時30分まで延長で出店する店があります。

#### ③体験コーナー

- ・子ども遊び広場(縁日コーナー、キャラクターショー他)

#### ④マスのつかみ取り(平成31年より復活)

- ・午後12時30分～(受付:午前11時)、午後1時30分～(受付:正午)の2回実施(会場プール)
- ※小学生以下の参加(参加する際は、けが防止のため靴を着用にて実施)

#### ⑤フィッシングイベント

- ・村営釣り場(小菅フィッシングヴィレッジ)にて実施

#### ⑥ビンゴ大会(初)

- ・午後4時55分より会場にて実施
- (HIS旅行券、NIPPONIAペアディナー券など)

#### ⑦スカイランタン400基(初)

- ・午後6時50分より会場周辺にて実施
- (販売受付:午後1時～ 受取り・絵描き:午後5時45分～)

#### ⑧花火

- ・午後7時より打ち上げ



大菩薩御光太鼓(オープニング太鼓)



三ヶ村氏子



徳永ゆうき



ビューティーこくぶ



ヒーローショー



花火



スカイランタン

**注意事項** 詳細は、多摩源流まつり実行委員会事務局(役場源流振興課)までお問い合わせください。

# ご卒業おめでとうございます

小菅中学校 6 名が学び舎を巣立ちました



## 6名の卒業生 (証書番号順)

- 植田 裕翔 (田元地区)
- 木下 花音 (中組地区)
- 船木 結愛 (東部地区)
- 古家光一郎 (川池地区)
- 堀田 紗世 (中組地区)
- 近江 八雲 (田元地区)

## 3学年教職員からのメッセージ

6名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さま方、心よりお祝い申し上げます。

3年前、不安な表情で入学してきた時がつい最近のように思われます。この3年間で皆さんは大きく成長することができました。それは皆さんの努力の賜物に他なりません。しかし、その陰には皆さんを暖かく見守ってくださった小菅村の方々、いつもそばにいて皆さんを励まし続けてくださった家族の皆さまの存在があったことを忘れてはいけません。

その暖かな励ましを胸に、この先、辛いことや苦しいこと、その1つ1つを乗り越えていってほしいと思います。

主任 小俣 和弥

裕翔くん、花音さん、結愛さん、光一郎くん、紗世さん、八雲くん、ご卒業おめでとうございます。一緒に過ごした2年間、色々なことがありましたね。でも、どんなことにも前向きに一生懸命頑張る6人と過ごせたことがとても幸せでした。これからは自分で決めた道へと進み始めます。皆さんを支えてくれる周りの人々を大切に、そして自分の夢や目標に向かって諦めずに、皆さんらしく前向きに歩んでほしいと思います。これからも皆さんのことをずっと応援しています。2年間たくさんの思い出をありがとう！

担任 内藤 沙織



## 中学3年生による 村への提言

2月27日(金)に、小菅中学校にて3年生による「村への提言」が行われました。

今回、生徒たちは自らの実体験や独自の視点に基づき、道の駅の利活用や修学旅行についての提言を行いました。提言を受けた村民からは、感心の声とともに鋭い質問や意見が次々と飛び出し、会場は緊張感と熱気に包まれました。また、今回は小学生からも「その根拠は何ですか?」といった質問が飛び出すなど、世代を超えた交流が見られました。

生徒たちの提言は、村を愛しているからこそ生まれる力強いものばかりでした。彼らの柔軟な発想を単なる発表で終わらせず、これからの村政にどう活かすかについて真剣に向き合う機会となりました。



## 別れの言葉

校庭の桜の蕾も膨らみ始め、この自然豊かな小菅村にも春が近づいています。今日、このよき日に私達6名は、それぞれの夢や目標に向かってこの学び舎を巣立ちます。本日は、私達卒業生のためにこのような心温まる式典を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、ご多忙の中ご臨席を賜りましたご来賓の皆さま、校長先生を始めとする先生方、保護者の皆さま、在校生の皆さん、卒業生一同、心より感謝申し上げます。

中学校生活を振り返ってみますと、3年間の様々な思い出が、鮮明によみがえってきます。3年前の4月、私達は不安と期待に胸を膨らませ、少し大きな制服に身を包み、緊張しながらこの小菅中学校に入学しました。授業や部活動、学校の決まりなど、わからないことばかりで戸惑う私達に、優しく声をかけ手を差し伸べてくださったのが先輩方でした。先輩方の背中から、勉強だけでなく仲間と協力することの大切さ、努力を続けることの意味、そして人を思いやる心など、多くのことを学びました。

2年生になると学校生活にも慣れ、後輩ができ、「支えられる側」から「支える側」へと立場が変わりました。今度は自分たちがお手本となる立場となり、責任の重さを感じるようにもなりました。体育祭や明姫祭などの学校行事では、仲間と何でも話し合い、意見を出し合いながら1つの目標に向かって取り組みました。思うようにいかず悩んだこともありましたが、仲間と協力してやり遂げたときの達成感は、今でも心に残っています。

そして3年生となり、私たちは最高学年として学校を引っ張る立場になりました。修学旅行、強歩大会などの行事はもちろん、教室での時間さえも、これまで以上に大切に感じられるようになった1年でした。その一方で、最高学年としての自覚が足りなかった場面もあり、先生方から厳しい言葉をいただくこともありました。しかし、その度に友達とお互いに声を掛け合い、どうすればより良い学年になれるのかを考え、改善に向けて努力してきました。2学期からは本格的に進路と向き合う日々が始まりました。焦りや不安に押しつぶされそうになることもありましたが、隣にはいつも共に頑張る仲間達の姿がありました。受験勉強と学校生活を両立させることは決して簡単なことではありませんでした。それでも、多くの先生方に支えていただき、ここにいる5人の仲間と励まし合いながら乗り越えてきました。ともに悩み、努力し、支え合った日々は、私達たちにとって決して忘れることのできない大切な思い出です。何気ないこの日常が、どれほど幸せで尊いものだったのかを、改めて実感した1年でもありました。

当たり前だと思っていた毎日。いつも学校に来ればみんながいる。教室に響く笑い声。何気ない会話。一緒に給食を食べる。一緒に勉強をする。こんな日常は今日で終わってしまいます。中学校生活、3年間で出会った仲間たちは、私達にとってかけがえのない存在です。

在校生の皆さん。皆さんと共に過ごした日々は、私達にとってかけがえのない宝物です。皆さんの前には、まだまだたくさんの可能性が広がっています。失敗を恐れず、仲間を大切にしながら、何事にも全力で挑戦してください。様々な活動の中で、私達を支えてくれた在校生の皆さんに、心から感謝を伝えます。本当にありがとうございました。

今まで私達をご指導してくださった先生方、3年間本当にありがとうございました。毎日ふざけて怒られ迷惑ばかりかけたかもしれません。それでも先生方は、未熟な私たちに真剣に向き合い厳しく、時に優しく、私達一人一人と真剣に向き合い、ここまで導いてくださいました。心より感謝申し上げます。

そして地域の皆さま。私達が小菅中学校で安心して充実した3年間を過ごすことができたのは、地域の皆さまの温かい見守りのご支援があったからです。心より感謝申し上げます。

最後に、私達の一番の味方である、お父さん、お母さん。15年間、私達を大切に育ててくれて、本当にありがとうございました。嬉しいときも苦しいときも、いつも一番近くで支え、見守り続けてくれたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。今日、こうして卒業の日を迎えられるのは、家族の支えがあったからこそです。心からありがとうございます。

いよいよお別れの時が近づいてきました。私達を支えてくださった地域の皆さま、校長先生を始めとする先生方、保護者の皆さま、今まで本当にありがとうございました。この校舎やお世話になった先生方、そしてこれまで共に歩んできた仲間や後輩たちと別れてしまうのはとてもさみしいですが、私達卒業生は本日この小菅中学校を巣立ち、それぞれの道へと進んでいきます。

ここで出会った先生方、仲間などすべての方々への感謝の気持ちを胸に、これからも前を向き、自分の夢に向かって力強く歩んでいくことを誓います。

結びに、私達の門出にあたり、小菅中学校のさらなる発展と、ご臨席を賜りました皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、別れの言葉とさせていただきます。

令和8年3月11日 卒業生代表 船木 結愛



NPO多摩源流こすげ

## 源流体験が「エコツーリズム大賞」を受賞!

2月26日(木)、環境省にて「第21回エコツーリズム大賞表彰式」が開催され、NPO法人多摩源流こすげと小菅村が協働開催している源流体験が特別賞を受賞し、環境副大臣の青山繁晴氏から表彰状が授与されました。

「エコツーリズム大賞」は、エコツーリズム活動の質的・量的向上と、情報交換等による関係者の連帯感の醸成を目的に、優れたエコツーリズムを取り組んでいる事業者や各種団体、地方公共団体を対象に表彰しています。

源流体験は2001年に小菅村役場と源流研究所で開始され、その後NPO法人多摩源流こすげが引継いで実施しています。体験内容を参加主体の年齢構成や団体・企業に合わせ、最近では源流域の森林再生を組み込んだプログラムを実施するなど、25年にわたって取り組んでいることが高く評価され、受賞につながりました。



この度の受賞  
おめでとうございます!

## 新入職員紹介

3月より教育委員会に配属となりました小松みのりです。南アルプス市の出身で南アルプス市役所に約30年勤務しておりました。

住民の方々との関わり深く密接な地域づくりをしたいという思いで1日も早く小菅村の皆さまに親しんでいただけるような職員になれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



教育委員会

小松 みのり

新

# 村営バス 納車



令和8年4月1日より村営バスの車両が変わります。  
これまでは13名までご乗車いただきましたが、新車両は9名までとなります。乗車人数が5名以上の場合はあらかじめご連絡いただきますようお願いいたします。

小菅村  
交通安全協会

## 春の全国交通安全運動

### 運動の目的

広く村民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、村民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

### 運動期間

令和8年4月6日(月)から4月15日(水)までの10日間  
交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(金)

### 運動の重点目標

- (1) 子どもを始めとする歩行者の安全の確保
- (2) 歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上
- (3) 自転車の交通ルール理解・遵守の徹底

### 街頭指導日

4月6日(月)・10日(金)・15日(水)の3日間  
いずれも午前7時30分から8時15分まで

- 小菅村役場前交差点
- 旧診療所前横断歩道
- 池之尻横断歩道



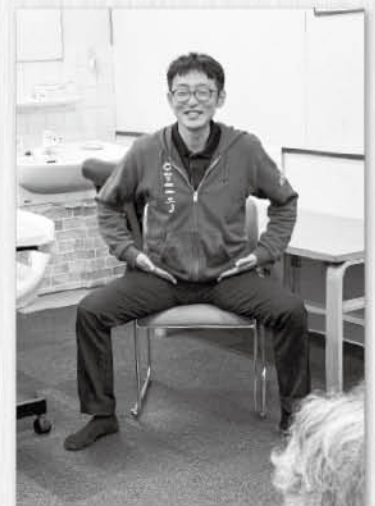
### 地域おこし協力隊 より

吉田 光汰

いつもお世話様です。一昨年の9月より小菅村へ来て社協包括に所属し、約1年半が経ちました。主にキッチンカーやお茶会で地域を回ったり、立腰体操を活用した体操の日・体づくりを実施したりして活動しています。整体施術も始めつつあります。

いよいよ春を迎えて、畑の季節が始まりますね。畑2年目の今年は、去年とは違う作物も育ててみたいと楽しみにしています。

自然と共にある小菅村の暮らし、人と人とのつながりのある暮らしを味わい、小菅の魅力の発信も行っていきたいと思います。今後とも、よろしくお願い致します。



2026.  
4月

i n f o r m a t i o n

# お知らせ



## 第86回国民スポーツ大会・第31回全国 パラスポーツ大会愛称・スローガン募集

- 応募資格…年齢や性別、県内居住の有無など、制限はなし。
- 応募方法…インターネットからのみ。
- 応募期間…5月29日(金)まで
- 懸賞…最優秀賞各1作品(賞状・賞金5万円)、優秀賞各3作品(賞状・賞金1万円)
- お問い合わせ…  
第86回国民スポーツ大会・  
第31回全国障害者スポーツ大会  
山梨県準備委員会事務局  
☎055(223)1780



↑詳しくは  
こちら

## 農産物の環境負荷低減の取組の 「見える化」に取り組んでみませんか？

農林水産省では、農産物の「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベル(=みえるらべる)で表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整える「見える化」を推進しています。

対象品目：24品目(令和8年1月現在)  
【露地】：米、ほうれんそう、白ねぎ、たまねぎ、はくさい、キャベツ、レタス、だいこん、にんじん、アスパラガス、りんご、日本なし、もも、ばれいしょ、かんしょ、茶  
【施設】：ミニトマト、いちご  
【露地・施設】：きゅうり、なす、トマト、ピーマン、温州みかん、ぶどう



詳しくはこちらから

## 山梨県富士山科学研究所

- 予約・お問い合わせ…山梨県富士山科学研究所  
環境教育・交流部 教育・情報担当  
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1 ☎0555(72)6203

## 富士山研いきもの図鑑

～みんなから集めた写真展～

- 期間…4月25日(土)～12月20日(日)
- 実施時間…午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)
- 場所…山梨県富士山科学研究所  
本館1階エントランスホール
- 内容…富士山科学研究所の研究員が調査時に撮影した動植物や「やまなしいきものクエスト2025」に寄せられたいきもの情報による写真展です。
- 入場料…無料

## 森のガイドウォーク

- 日時…  
春 4月25日、26日、29日、5月2日～6日、9日、10日  
夏 7月11日、12日、19日、20日、25日、8月2日、  
8日～16日、23日、29日、30日、  
秋 9月5日、6日、13日、19日～23日、26日、  
10月4日、11日、12日  
1日5回/①午前10時～②午前11時～③午後1時～  
④午後2時～⑤午後3時～(1回約45分)
- 集合場所…山梨県富士山科学研究所  
本館1階エントランスホール
- 対象…どなたでも(子どもから大人まで楽しめます)
- 内容…研究所が位置する富士北麓剣丸尾の森の中を当研究所の自然解説員とともに散策します。富士山の成り立ちや森のうつりかわり、そこにすむ動植物のことなどについて説明を聞きながら、森の素晴らしさにふれてみませんか。
- 予約…事前予約優先。また、6人以上でお申込みの場合は必ず事前にご相談ください。
- 参加費…無料 ●その他…雨天中止

うづき  
卯月  
4月



↑【役場公式LINE】  
友達追加で、防災無線の放送内容やごみカレンダーがスマホで確認できます。

★ 口座振替日は4月30日(木)です ★

- 軽自動車税 ● 固定資産税(全期前納・第1期分)
- 介護保険料(第1期分)

**重要** 4月28日(火)までに通帳残高の確認をお願いします

日	月	火	水	木	金	土
3月 29 赤口	30 先負	31 友引	1 先負 粗大ゴミ 橋立・川池 田元・中組	2 仏滅 燃えるゴミ・ 生ゴミ	3 大安 ●筋トレ教室 カン類	4 赤口
5 先勝 ●村営バス運休	6 友引 燃えるゴミ・ 生ゴミ	7 先負 ●筋トレ教室 ビン類	8 仏滅 ●小中学校 入学式 ●保育所入所・ 進級式	9 大安 燃えるゴミ・ 生ゴミ	10 赤口 ●筋トレ教室 ペットボトル	11 先勝
12 友引 ●村営バス運休	13 先負 燃えるゴミ・ 生ゴミ	14 仏滅 ●筋トレ教室 ●子育て支援 ありんこ 本・雑誌	15 大安 粗大ゴミ 東部・白沢 小永田・長作	16 赤口 燃えるゴミ・ 生ゴミ	17 先負 ●筋トレ教室 ダンボール	18 仏滅
19 大安 ●村営バス運休	20 赤口 燃えるゴミ・ 生ゴミ	21 先勝 ●筋トレ教室 ●子育て支援 ありんこ カン類	22 友引	23 先負 燃えるゴミ・ 生ゴミ	24 仏滅 ●筋トレ教室 ●村営バス運休 新聞紙	25 大安
26 赤口 ●村営バス運休	27 先勝 ●はぐくみ サポート 燃えるゴミ・ 生ゴミ	28 友引 ●筋トレ教室 ●子育て支援 ありんこ ビン類	29 昭和の日 先負	30 仏滅 ペットボトル 口座振替日	5月 1 大安	2 赤口

- 「子育て支援ありんこ」とは、保育所入所前の子どもと親を対象に保育所で行っている交流活動です。
- 粗大ごみの収集は4地区ずつ2日に分けて収集します。
- 村営バスの運休日は毎週日曜日と第4金曜日となりますのでご注意ください。
- 毎週火・金曜日の筋トレ教室は、中央公民館(YLO会館)で実施しています。

# 源流大学

## 活動報告会



3月7日(土)、中央公民館にて「源流大学活動報告会」が開催されました。東京農業大学、東京学芸大学、法政大学の学生が野生動物の行動や教育プログラムに関して、1年間の研究成果・卒業論文やこれからの研究内容を発表していました。村民や宮林理事からの質問やアドバイスに、学生は落ち着いた様子で的確に答え、熱心に聞いていました。研究対象の中には、ナラ枯れの原因となる虫の活動条件や登山道に出没しているクマの行動パターン、ワサビ田存続に関連した研究もあり、今後の対策案の参考資料になる可能性がある貴重な機会となりました。

夜には交流祝賀会が行われ、学生・村民がお酒を酌み交わしながら交流を深めていました。



# 空飛ぶクルマ ワークショップ

2月21日(土)に中央公民館にて、「空飛ぶクルマの活用考察ワークショップ」が行われました。

村民や山梨県職員に加えて山梨大学・九州大学の学生が参加し、観光・医療・防災・地域交通の4グループに分かれて各分野における小菅村の空飛ぶクルマの実装に向けた活用方法を、村民や学生の視点から考察して発表しました。

空飛ぶクルマは垂直離着陸が可能かつ自律飛行が特徴で、ヘリコプターや飛行機と比べて電動かつ騒音が少ないので都市部や山間部での次世代の移動手段として注目されています。

ワークショップでは、人口減少による働き手不足や高齢化社会の中での介護者減少、災害発生時の道路遮断による救助活動・避難の困難等が課題として挙げられ、移動時間短縮による通勤・通学、観光アクセス、市町村の視察等の利便性向上、介護負担軽減、災害発生予想箇所の調査等につながると意見が挙げられていました。

